



豊平の福祉に愛の手が伸びる
豊平地区マークと福祉標語

とよひら

題字 関 正明

豊平地区町内会連合会

広報紙第25号

発行責任者 関 正明

札幌市豊平区豊平6条7丁目1-12

電話 (011) 811-9435番

災害、その時に頼りになるのは となりの近所の助け合い

豊平地区町内会連合会の地域防災の取り組み

町運役員合同研修会

東日本大震災から二年。その教訓から、地域の防災力を高め、支え合うことが必要になっていると感じていらっしゃる方も多いと思います。

豊平地区町内会連合会でも、災害から地域を守るための活動に力を入れてきています。昨年度に引き続き、今年度も町内会連合会の役員研修のテーマは「防災」。平成二十四年十月二十五日(木)に、南部



水道センター(豊平八条十丁目)より、南部配水管理課の古井課長をお迎えし、「札幌市水道局の災害対策について」の講演をいただきました。災害時の飲み水・生活用水などの確保のための札幌市内の緊急貯水槽の整備状況、耐震用の管の使用、応急給水のための車両や給水袋などの確保状況についてのお話の後、南部水道センターにある緊急貯水槽(応急給水施設)の概要の説明がありました。

貯水量は四〇〇m³、四万四千人に一人当たり三リットル三日分の飲料水を給水できる施設です。こうした施設が豊平地区内にあるのは心強いことです。いざ災害の時、水を受け取るのみならず、地域の一人として地域のため、水道局と連携して、水を求める方々への給水作業に積極的に協力する役割も期待されていると感じました。その一方で、いざ災害の時、自分が南部水道センターまで水を求めに行けないことも想定しなければなりません。備えあれば憂いなし、各家庭でも災害に備え、一人当たり三リットル三日分の水を備蓄しておくことが大切であると再認識しました。

この講演に続き、豊平まちづくりセンター所長から、避難所開設・運営時の留意事項、豊平地区内の避難所・備蓄物資保管所である小中学校の校舎内の様子、避難生活に役立つ防災用品などの説明などがあり、地域に暮らす者にとって身近なエリア内での避難生活のイメージを思い描くのに役立ちました。

豊平地区内の避難所巡りと南部水道センター訪問
豊平地区町内会連合会では、普段ならなかなか訪れている公共施設も、避難所という視点からあらためて見ておけば、実際の災害時の避難の際にも役立つのではないかと考え、豊平地区内のいくつかの避難所指定施設を歩いて巡ることにしました。平成二十四年十一月十日(土)に、五十名程の参加者で豊平会館を出発点

に、至近の避難所である、豊平小学校、北海きたえーる、豊平若者活動センターの施設内を見学しました。各施設で体育館など、避難スペースとなり得る場所の配置や大きさを確認したり、出入口、水場、便所などの様子を確認したりしたほか、特別に、豊平小学校では、屋上に設置されたソーラーパネルを、北海きたえーるでは、火災時や、場内から外部への避難時の安全確保のために考え抜かれた最新の設備を見せていただきました。

そして、前述の十月の座学での研修に続き、今度は南部水道センターの現地を訪問しました。敷地内の地階にある大きな緊急貯水槽、遮断弁、ポンプを見学し、その仕組みについて説明を受けた後、応急給水カラから水を出していただき、給水方法を学びました。リュックサックのように背負うことができるようになっていた六リットルサイズの給水袋は、女性でも持ち運びが可能でした。命を守る地域の避難所と大切な水についての知識が深まった一日でした。

札幌保育園 創立90周年を祝う

最後に大石園長さんのお礼の言葉があり終了致しました。札幌保育園は大正十一年俱知安洋裁学校を経営されていた大石スク氏が札幌で保育所を開設したのが始まりで、中央区南一条東二丁目開設し、その後豊平に移転し二度移転のうへ、大正十三年現在の地に園舎を取得し、改装して保育園設備が整いました。

平成二十四年十一月二十二日(木)ルネッサンスサッポロホテル地下大ホールに於いて札幌保育園創立九十周年記念式典が開催されました。式典は現在通園中の子ども父母にも参加して頂くため午後七時から一六〇名の出席者で開会いたしました。札幌私立保育園連盟評議会長さんの開会の言葉に始まり、柿本札幌保育園園理事の祝杯の後、各テーブルから代表の方々が園にまつわる思い出話とお祝いのことばで、保育園の歴史を知る事のできるスピーチがされました。

会場には、来賓の方々、懐かしい旧職員、卒園生などが顔をあわせ、思い出話や、記念写真を撮るなど和やかな交流が続きました。いつも園で腹話術をして頂いている、卒園生でもある寺尾さんの腹話術が、四か所の画面に映され、また園の古い写真も映し出されています。そして現在の園生と先生により可愛い園の歌が元気に披露されました。



現在は百四十名余の乳児、幼児が楽しく通う明るい保育園として発展しています。

盛会だった.....留学生会館祭り

今年13回目を迎えた留学生会館祭りは2月24日(日)に約200名の参加者で留学生会館で開催されました。

祭りはこの会館に住む留学生や交流のある日本の学生で実行委員会を作り準備が進められてきました。



11時45分、遠藤実行委員長のごとくで開会し、葛札幌国際交流会館長のごあいさつで祭りが始まりまし。

最初は地元豊平第17分区町内会の皆さんの餅つき、参加されたご婦人や留学生、子ども達が餅つきを体験し、つき上がった餅は皆さんお汁粉で美味しくいただきました。

続いて留学生による演芸タイムでアメリカ、パメラさんの歌、イスラエル、ウイクトリアさんのカルメンとフラメンコ、など日頃見られない歌や踊りが披露されました。

次は中国の王さんのマジック、息子の策さんの可愛いテールマジックで和やかな祭りが進められて行きました。

交流ラウンジでは囲碁体験

留学生の母国の紹介展示で韓国、ミャンマー、インドネシア、ペネズエラ等国の歴史や、風景、お金や民族衣装など普段見る事の出来ない展示がありました。

2階会議室では世界の料理紹介として中国、韓国、ニュージーランド、日本の料理が提供され日本とはまた違った味を堪能いたしました。

学習室では北海学園大学の茶道研究会の学生が日本の茶道のお手前を披露され、ワビ、サビの文化を紹介しました。

3時の閉会式ではクイズの解答と当選者への賞品がありました。実行委員長の閉会のことばがあり終了致しました。

午後5時から協力頂いた皆さんとの反省会があり、また今年卒業などで会館を去る7名の学生の送別会を兼ねて懇親会が開催されて終了致しました。

いつまでもお元気で一緒に楽しみましょう

介護予防センター美園

介護予防センター美園では札幌市の委託事業として『すこやか倶楽部』『転倒予防教室』『認知症予防教室』等の介護予防教室を実施しています。概ね六十五歳以上の方を対象に、いつまでも住み慣れた地域で、お元気に自分らしく暮らすためのお手伝いとして、知恵を絞りながら色々な事を体験してもらえようという企画を立てています。「参加して良かった」と笑顔でお帰りの事をお願い、日々

奮闘しています。通常は、豊平会館の大広間で開催していますが、年二回程、バスを貸切り、工場・資料館見学、レストランでの昼食、時には温泉に入る事もあります。昨年八月は札幌ドームツアーに出かけ、普段入れない裏側を見ることができました。以前行ったことがあろうという方もいましたが「みんなで行くって楽しいね」と言っていたいただき、企画して良かったという思いでいつぱいになりました。今年も新しい企画を取り入れ、たくさんの方に笑顔と介護予防に関する情報提供をしていきたいと思えます。また、出前講座として老人クラブや町内会のサロンなどに出張して、介護予防に関する講話も行っています。



平成二十四年度 豊平地区老連 秋のパークゴルフ大会

平成二十四年九月二十八日(金曜日) 薄曇りの絶好の天候の下で、豊平地区老人クラブ連絡協議会主催の秋のパークゴルフ大会が豊平川緑地パークゴルフ場七条コースで開催された。

大会は、竹内会長の開会宣言により、男子二十六名、女子十名、計三十六名の参加会員がそれぞれA・Bの2コースに分かれて、午前八時半にスタートを切った。

なごやかなうちにも、真剣なプレーで、各ホールで好スコアが続出し、十八ホールを終了した結果、男子の部では見事ホールインワンを達成した豊平さつき会の栗山哲夫さんが五十一のスコアで優勝し女子の部では旭水クラブの田村省子さんがベスコロ五十八でハンドレの三打をものともせず、優勝しました。

当協議会は六つのクラブ会員相互の親睦交流と健康増進

- を目的として春・秋の二度パークゴルフ大会を開催しております。なお、成績は次のとおりでした。
- | 男子の部 | |
|------|------|
| 一位 | 栗山哲夫 |
| 二位 | 佐藤敏彦 |
| 三位 | 田中保夫 |
| ベスコロ | 栗山哲夫 |
| 女子の部 | |
| 一位 | 田村省子 |
| 二位 | 小室征子 |
| 三位 | 宮川芳子 |
| ベスコロ | 田村省子 |



第十八回 全国女性消防団員活性化 秋田大会に参加して

昨年十一月十六日(金)秋田県公民館にて「美の国へようこそ!女性消防団員秋田」をテーマに全国から二五〇名の女性消防団員が参加。この大会に豊平消防団を代表し私たち二名が出席しました。

今大会は、全国の女性消防団員が一堂に会し、日頃の活動や成果をアピールするとともに、意見交換や交流を通じて連携を深めることにより、女性消防団員の活動の活性化を図るものです。

内容は「活動事例発表」「火災予防啓発劇」「パネルディスカッション」「記念講演」でした。

一、「活動事例発表」では四消防団が発表。滋賀県野州市消防団は女性の放水訓練やオリジナルキャラクターでの団員募集活動。神奈川県横浜市西消防団は海の転覆救助訓練、緊急車両の走行訓練。その他に鹿児島県薩摩川内市消防団、茨城県常陸大宮市消防団の発表を聞きました。

二、「火災予防啓発劇」は秋田県秋田市消防団が着ぐるみを着て「止まれ・倒れろ・転がれ」を合言葉に火の消し方を、三重県津市消防団は「自分の命は自分で守る」のコント風の劇。奈良県奈良市消防団では「やまとなでしこ隊」での広報活動を鑑賞。

三、「パネルディスカッション」では、「大規模災害時における女性消防団員の活動について」をテーマに岩手県・宮城県・福島県の消防団員が実際に経験したことを聞きました。

四、「記念講演」は俳優で秋田県出身の柳葉敏郎さんの講演でした。

消防団の活動が多様化する中で、地域コミュニティと深いつながりがあり、きめ細かな視点をもつ女性消防団員は、欠くことのできない大きな存在となつていて、これを改めて実感しました。

豊平消防団 豊平分団
 班長 坂井 祥子
 団員 山岡 道代

当センターでは、「総合相談」という役割も担っています。ご高齢の方やご家族、地域の方の様々な相談に応じます。例えば「すこやか倶楽部」に参加したいけれど、どうしたらいいかしら」「介護保険制度のことが聞きたい」「認知症の問題、高齢者虐待、配食サービス等々。まずはどんなことでも、お気軽にご相談ください。身近な地域の相談員として活用いただければ嬉しいです。

当センターは、「豊平・美園」地区にお住いの方を担当しています。今後とも介護予防センター美園を宜しくお願いたします。

電話 八一七一一二九四





災害に迅速対応 顔のわかる安心感

「豊平区ネットワーク会議」が、二月二十八日に豊平区民センターで開催され各地区町内会連合会、防火・防犯協会行政機関、学校関係者など五十九団体から約八十名が出席し、「災害時要援護者避難支援に関する現状と課題」について、保健衛生部から行政の取組み、また地域での減災の必要性、住民主体の活動について説明があり、その後西区



「これからの安全で安心な食について考えること」

食をとりまく環境については人間は健康で長生きするためには、健康な食べものを食べなければいけない。その為に農家はその土地や気候風土に合った作物を作ることが一番のことです。近年は季節感のない食べものが店頭に出ていて野菜や魚に旬というものがなくなってきたという旬の食べものは栄養価が高くておいしいものを食べるのが出来るし価格的にも安く手に入る。入ることが多いので季節に合わせた食べものを食べるべきだと思います。

又T P Pの話では、外国の食品、たとえば米などは、日本の米の十分の一の価格で取り引きをされるので日本の米農家はこの価格では競争をすることは全く出来ない、しかし価格競争では歯がたたないけれど日本の米・農産物は農業を最小限度にとどめて、体にやさしい安全なものを使って



八軒中央地区、西岡地区、美園地区のそれぞれの代表から避難支援プラン作成から情報

の収集、マップ作成、要援護者・支援者の組合せ等実践報告の事例発表があり、それぞれ地区事情や環境状況には違いがありますが、当初よりこの活動に取組まれた地域の方々にももちろん行政との連携に汗を流した役員らの信念が実を結び地域住民の自助、共助への関心の高まりが見え、地域の安全は自分達で守る心構えが

豊平5分区分町内会



私達豊平5分区分町内会の発足は古くから住んでいる方も少なくなり、古い資料も残っていませんが、徳田5代目会長からは昭和32年頃と聞いています。当時は3丁目通り(南7条米里線)には農業用水路が流れていて夏には夜市で露店が立ち並び弾丸道路(36号線)には市電が走っていて、喫茶店や飲食店、写真館にパチンコ店など多くの商店があり、日糧製パンの工場そして隣の3分区分の町内には八二一はち二に市場と商店街の景観がありました。

伝わってきました。先の阪神、東日本大震災を機に高齢者や障害者等、単独での避難が難しい、「要援護者」の支援を強化する動きが各町内会では広まってきており、避難支援などソフト面では住民主導となりつつ、それらの機能を發揮していくかなければならない面が多々あることも承知の上で、町内各

会を運営している状況です。活動としては月並みですが新年会・日帰り旅行のレクリエーション・町内清掃・花壇の植栽・交通安全、防火防犯の啓蒙・ゴミステーションの整備清掃などを実施しています。また3年前から町内の「ひふみ公園」で夏休み期間中の10日間、朝6時30分からラジオ体操を開催しています。これは町内には大小14棟のマンションがあり多くの新しい住民が生活しています。その人達との交流の場として女性部の方々が始めた事業です。今では若い親子・学生さんも参加して下さり年々参加者が増えていっています。このような5分区分町内会ですが、いま一番心配なのは役員の高齢化に後継者不足、皆様と同様の問題を抱えながらも、大勢の方が参加して頂ける町内会になるように役員一同努力しています。



関係者が一堂に会し対策への対応が求められているのも事実であります。ある町内会では「減災」の必要を説いて減災に向けた住民主体の出前講座等を開催し、また勉強会なども独自に取り入れていくこともできます。ネットワーク会議の中でも、要援護者と支援者との間にはお互いのコミュニケーション、すなわちお互いを知り合う「顔のわかる安心感」が命を守ることに繋がりますと協調しています。

地域で迎えよう
交通事故死ゼロ
3000日
安全で安心な地域のため

あひすキャンドル
とよひら
豊平商店街振興組合

あひすキャンドル事業は、平成十九年より冬の沿道や店舗・住居前道路の美化を地域住民がそれぞれに考える機会を得ることで魅力あるまちづくりの一策に繋がるものとし、実施しています。現在は札幌市商店街振興組合連合会主体で全市の商店街が同時期にキャンドル灯火を行う「まちの灯り事業」とも連動し行なっ

私達が住む豊平地区は、本年九月三日で交通事故死ゼロの日が3000日を迎えます。豊平地域では日頃交通安全活動を行ってきましたが、平成十七年六月十六日以後事故死ゼロの日が続き、平成二十年十二月には2000日、平成二十四年四月には2500日を記録致しました。本年九月三日には3000日を達成致します。

豊平地区では町内会連合会交通部をはじめ、交通安全母の会や各小中学校やPTAの皆様など、また地域や家庭の方々の協力により、各期の交通安全運動、街頭啓発、学校の登下校の交通指導、交通安全祈願祭など地域の交通安全活動を皆様の協力により進めて今日まで無事故を達成して参りました。

車を運転する皆様は勿論、家庭で無事に事故もなく帰る事を願っている皆さんの「交通安全」を祈っています。

今回は一月二十八日、三十日までの四日間実施しました。キャンドル点灯式は町連フロントシア豊平二一・豊平児童会館・商店街共催でまちづくりに於いて開催しました。

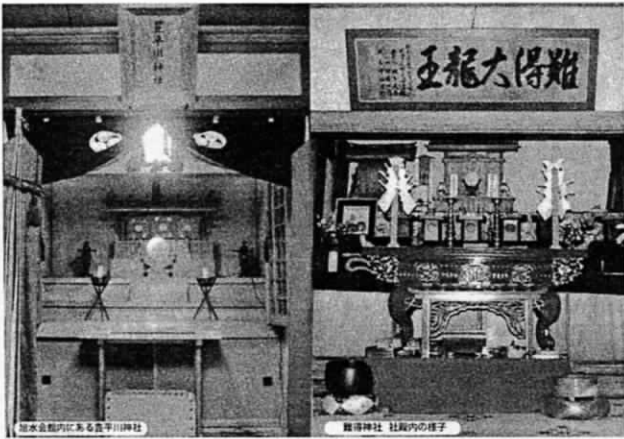
今後は、少子高齢化での地域力の低下が懸念されますが、自分が住む「まち」が素敵な地域になることを子ども達に実感してもらい、次代の地域風物詩として創造していただくことを期待しています。



旭水地区の神社紹介

旭水地区には豊平川神社と難得神社の二つの神社がある。ともに明治時代に創建され、地区の発展や周辺地域に住む人々を見てきた古い神社である。これらの神社は現在までどのような歴史を刻んできたのであろうか。

まず豊平川神社からであるが、この神社は明治二十一年に水車川流域の水車オナーの一人であった古館銀次郎が郷里の岩手県より奉戴してきた水車三神をまつるために水車町五丁目創建したものである。その後は「水神さん」として親しまれていたが、明治四十三年に北海道神宮司の額賀大直より「豊平川神社」の社名額揮毫をうけてからは



子供供養も、水車オナーの一人であった鹿兒島家から寄贈されたものである。次に難得神社であるが、この神社は通称で「へび神社」とい

西みゆきで、三六号線沿の経王寺で「お籠り」修行して霊能者となり、水車町五丁目の現在地に龍神を祀るために創建した。元々中西家は愛媛県で旅館経営を行っており、旅館立替時の木材伐採時に大量のへびも切つてしまったため、その供養のために創建したとされている。この神社の祭典は龍神であり、神仏習合時代からの龍神信仰を残しており、社殿も仏教式で建てられている。祭礼日には経王寺より高僧が来訪して法華経をあげている。通称である「へび神社」の名称の由来は、旅館立替時の出来事とへびを神霊化した龍神を祀っているということ、そして御神体の図からきている。巷間いわれる現在地付近でへび駆除を行ったときの供養のために創建したという言い伝えは、旅館立替時の出来事が経年変化したものである。

現在の難得神社は神域内に住む中西一家の田中綱栄さんが毎日祭祀管理し、毎月八日に「講」と呼ばれる祭礼を行い、毎年六月と九月の八日には大祭を行っている。このように、旭水地区にある二つの神社の歴史を簡単に解説してみた。現在でも創建以来の祭祀が継続して行われていることは、地区に住むみなさんの篤い信仰心があるからであるといえよう。この二つの神社について詳しいことはフリーペーパー「きよくすい」第二号の「旭水地区の神社史」に記載してありますので、参照していただければ幸いです。

記・有馬 尚経

豊平の歴史巡り

北海道の名付け親である松浦武四郎は蝦夷地（北海道）に6度訪れている。



三重県 松崎武四郎の生家

それはロシアが冬に凍らな港が必要で樺太から蝦夷地を領土にしたいと狙っているとの話を聞き、蝦夷地に行つて見たいと決心し、弘化2年（1845）に松前から函館、室蘭、襟裳岬を越え知床岬まで行き標柱を立てて帰つて来

それはロシアが冬に凍らな港が必要で樺太から蝦夷地を領土にしたいと狙っているとの話を聞き、蝦夷地に行つて見たいと決心し、弘化2年（1845）に松前から函館、室蘭、襟裳岬を越え知床岬まで行き標柱を立てて帰つて来

町内会に加入し、活動に参加してみませんか？
あなたの力が必要ですよ！

豊平地区は、区内のほかの地区と比べて、町内会の加入率が低く、また、お一人暮らしの方が多くの特徴で、地域での支え合いの難しさが気がかりなところがあります。今後、少子高齢化が進みます進む中で、誰もが明るく健康やかに暮らし、地域のいろいろな課題を解決していくためには、行政や個人の力だけではなく、地域の力が不可欠です。あなたの小さな活動やお心づかい、そして、

いざというときの隣近所 入っていますか町内会

町内会活動は、安全・安心を促して防災意識を高め、地域を活性化しています。

お問い合わせ先 豊平まちづくりセンター 011-9435

に何度か往復し、検証してみたが不適である……そこでこの近くをいろいろ調査したうえで私の考える所では、ツインカリー川を三里ほど上流に登ったところ、札幌の極平の付近がその適地と思うのでこれを更に酋長ルビヤンケ、モニオマの両人から意見を聞いた上函館奉行であった竹内、堀、村垣のお三方に申し上げたのであった。幾多の変遷があり今の札幌、豊平の地になったのである。

☆お知らせ☆

- 〔豊平地区町内会連合会 からのお知らせ〕
- ◎ 祝 次の方々が表彰を受けられました。
- ◎ 札幌市豊平消防団動続四十五年市長表彰
- ◎ 日本消防協会定例表彰 精進章
- ◎ 細井正勝さん(旭町三)
- ◎ 札幌豊平区防火委員会 防火活動上功勞のあった個人の表彰
- ◎ 岩井誠一さん(豊平四の三)
- ◎ 札幌市交通安全運動推進委員会会長表彰
- ◎ 神 健二さん(豊平七の九)
- ◎ 高橋忠雄さん(豊平七の八)
- ◎ クリーンさつぽろ衛生活動関係市長表彰
- ◎ 村上忠徳さん(豊平六の六)
- ◎ 経済産業省所管統計調査功勞経済産業省感謝状
- ◎ 藤田良則さん(豊平三の二)
- ◎ 札幌市統計功勞者動続十五年市長表彰
- ◎ 濱田繁光さん(豊平四の五)
- ◎ 今後の主な豊平地区の行事
- ◎ 今年九月まで
- ◎ 春の交通安全運動街頭啓発

- ◎ 四月十日(水)
- ◎ 豊平川神社春季例大祭
- ◎ 四月十五日(月)
- ◎ とよひら花LAND植花
- ◎ 五月から六月まで
- ◎ とよひら福祉のまち推進センター・お元氣グッズ配布
- ◎ 五月下旬・九月下旬
- ◎ 春の親子レクリエーション・ハイキング
- ◎ 六月上旬
- ◎ 鉄一が里とよひら塾 第一講 歴史講演会
- ◎ 六月中旬
- ◎ 豊平神社例大祭
- ◎ 七月十五日(月・祝)
- ◎ 夏の交通安全運動街頭啓発
- ◎ 七月十日(水)
- ◎ 子ども盆踊り大会
- ◎ 八月上旬
- ◎ 志村鉄一慰霊祭
- ◎ 八月十六日(金)
- ◎ とよひらふれあいまつり
- ◎ 八月二十五日(日)
- ◎ とよひらおもしろひろば
- ◎ 九月上旬
- ◎ 豊平川神社秋季例大祭
- ◎ 九月十四日(土)・十五日(日)
- ◎ 秋の交通安全運動街頭啓発
- ◎ 九月二十四日(火)
- ◎ 交通安全祈願祭
- ◎ 九月下旬
- ◎ 防災コラム
- ◎ 豊平区のコミュニティDFM はFMアップル76・5MHz
- ◎ 市内で災害が発生した場合に優先的に非常放送を行います。

- 編集委員
- 中川昭一
- 松野博志
- 佐藤崇
- 宮越崇
- 細井勝利
- 石川明幸